

デヴィッド・モーガンの革新的デザイン
省エネ照明器具



Shelf Lightの接続部を示す。



デスクランプ

デヴィッド・モーガン
1951年、ロンドン生まれ。ロンドン大学物理学卒業、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修了後、ゾーン・ライティング及びフェザー&パートナーズを経て、1981年、デヴィッド・モーガン・アソシエイツ設立。照明デザイン、工業デザインの分野で活躍中。



Shelf Light/主に店舗のディスプレイに適したライティング・システム。(クライアントC.=Axis Lighting)



Burlington/
バーリントンは18世紀ロンドンのショッピング・アーケード。手作りの湾曲したウィンドゥと球形の天井照明をもつ。1988年パナソニックのデザインコンペ受賞作。(C.=Axis Lighting)

照明器具の分野でもハイ・テク化が進行している。中でもイギリスのデザイナー、デヴィッド・モーガンによるロー・ボルト電圧の照明器具は革新的なアイデアをもつ。省エネを唱える彼が考案する照明システムの一つに「シエルフ・ライト」がある。これは「上の写真で示すように、ガラス板にミニランプをクリップしただけのもの。ただし、このガラス板に仕掛けがある。板のふちに特殊な伝導性のテープを自立たぬようにはさま込み、12ボルトの人体に安全な低圧電流を通して。そのため、どの位置にも器具が付けられ、見た目にも大変美しい。これはディスプレイ用に最適なライティング・システムといえる。また、デスク用のライトもユニークなものがある。その一つ「バーリントン」は、透明なガラス器具の下部から垂直にビームライトを発生、上部の鏡がそれを受けて反射させるというシステム。鏡に付いたレバーの操作で照らす角度が変えられる。メカニズムが一目瞭然でデザインも優れている。

この他、アプリケーションとしてデザインされた「ウェイブ」は、ガラス繊維を使ったライト。光は少し離れたところに置かれた円筒のハロゲンランプを内蔵したライトボックスから導かれる。

デヴィッド・モーガンは照明器具の他、工業デザインの各分野で仕事をしているが、マーケティングを優先した堅実なデザインが特徴。技術力と創造力の融合に力を入れている。



Terralux/
外部建築照明用。特別な屈折システムにより、十分な照明が等分に行き渡る。(C.=Holothane Europe)



Flag/
2枚の鏡物が光源をはさみ旗のように見える。12ボルト50ワットのスポットライト。(C.=Axis Lighting)



Wave/
ファイバー・オプティックを使った卓上ライト。熱や音を出さず、極端的な照明に使われる。(C.=Axis Lighting)